

福島県・宮城県渋滞対策連絡協議会 浜通り地区ワーキンググループの開催結果概要

今回の浜通り地区ワーキンググループにおいて、以下を確認し、意見交換を行った

■福島県及び宮城県の渋滞対策連絡協議会の下に、新たに「浜通り地区ワーキンググループ」を設置すること

■交通の状況

○東日本大震災以降、復旧・復興事業等の本格化及び常磐道の全線開通等に伴う内陸地域からの交通転換により、帰還困難区域を除く国道6号及び常磐道の合計交通量は1.4～2.0倍増加

○国道6号においては、原町以北では、朝方に上り方向・夕方に下り方向、大熊以南では、朝方に下り方向、夕方に上り方向のピークが発生しており、多くの箇所、ピーク交通量は震災前より増加しており、常磐道の開通やTDM等による減少が見られるものの、増加傾向が継続

■道路整備の状況

○久ノ浜バイパス、交差点改良の整備、県道等の通行規制区間解除が進めば、一定程度の交通の分散が期待される

■旅行速度の状況

○国道6号においては、朝夕の大型車の集中により、特にいわき市久之浜、広野町、檜葉町、南相馬市、相馬市、山元IC周辺等で速度低下が発生

○常磐道においては、朝夕に交通が集中し、サグ部、上り坂、合流部等で速度低下が発生

■今後の対応

○大型車や(県)相馬浪江線等についても分析を行う。

○現在事業中の道路整備を引き続き推進するとともに、交通の動向を注視のうえ、TDM等のソフト対策も含めた総合的な取り組みを進める